

# ロシア語科

公開講座慶應外語の前身である慶應義塾外国語学校は長い伝統があり、ロシア語科では大学教員、モスクワ特派員、ロシアとの貿易に携わる商社員など優れたロシア語関係者が数多く学んだ学校です。その伝統を今に生かしつつ、新たな改革を基に、新しいロシア語教育を行います。

最も美しい言葉の一つであり、国連の公用語でもあるロシア語は、世界で5億人以上の人々によって話されています。これまで日本とロシアとの交流は、「文学」「演劇」「バレエ」など主に芸術分野が中心となっていました。「文学作品を原書で読みたい」「ロシア演劇と日本の新劇との関係が知りたい」など、文化関係のことには大いに関心がよせられていました。しかし今現在は、そうした文化関係ばかりでなく、経済上の必要性が非常に強まっています。多くの日本企業がロシアに工場を建設していることはご存知でしょう。すべての分野においてロシア語を使える人が必要とされています。

ロシア語科では、そうした要求に応えるべく、カリキュラムを大幅に改善しました。一つには実践的であるべく、3年間で検定ならば3級、あるいは2級合格の実力をつけていただくために、基礎級、初級、中級、上級をもうけ、一貫したコースを作ったことです。基礎となる文法と発音に1年かけ、しっかりした文法の上にさらに正確な発話と聞き取りを学ぶばかりでなく、中級・上級で学ぶならロシア人との交流が容易に行えるロシア語力が身に付きます。

さらに単科受講制度を導入し、時間がないがぜひロシア語力をアップさせたい方のために、基礎級を除いて、それぞれの科目を週1回だけ受講することも可能となりました。週1回発音を学び、次の半年で聞き取りを学ぶ、さらにはジェスチャーを多用するロシア人との会話に習熟することも、中・上級の単科を連続してとることにより、可能となっています。

すでにロシア語を学んでいる方は、各講座の意図がはっきりと分からないと思いますので、ぜひそれぞれの講座内容やシラバスを入念にお読みください。その上で、受講する講座を決定してお申し込みください。なお、申し込み後も講座の変更は可能ですので(ただし、決められた期間中のみ)、ぜひガイダンスに出席して、申し込まれた講座が自分のレベルに合っているかどうかを確認してください。

簡単に各講座の概要を説明します。

基礎級(文法1と文法2)では基本的な文法(副動詞と形動詞、数詞の変化を除く)の3分の2ほどをじっくりと学びます。残りの3分の1は初級の「文法3」で学びます。基本的な文法の習得は基礎級の週2回と合わせて、終了となります。初級の「復習と検定対策」では文法知識の定着を図ると共に、4級合格を目指します。なお、形動詞や副動詞、数詞の格変化のような難解な文法事項に関しては、中級の「映画やアニメでロシア語(文法4)」で学びます。

中級では音声も学びます。「楽しいロシア語」では文法を復習しながら発音を総合的に楽しく勉強し、「映画やアニメでロシア語(文法4)」は高度な文法事項の習得を目指すと共に、可愛いアニメや他の映像を使い、聞き取る力を身につけます。これは検定3級に発音と聞き取りが含まれているからですが、当然、楽しくロシア語を勉強したい方を両講座とも歓迎します。

上級の「コミュニケーションロシア語」は経験豊かなロシア人講師が担当し、ユニークな教材を使用しながら会話の力を伸ばしていきます。またロシア語を話す際のエチケットを身につけたり、顔の表情などの意味を学んだりします。もう一つのクラス「総合ロシア語」では、マスメディアのロシア語を中心に幅広くロシア語を学ぶこととなります。

初級、中級、上級は単科でも受講できますが、できるだけ、**週2回の受講をお勧めいたします**。同じレベルにある2つの講座を同時に受講するコース・セット科目を受講すると、学習上の効果は、当然ながら、素晴らしいものになるでしょう。また受講料も割引になります。(単科講座を個別に複数受講しても受講料の割引はありません。)

また学期末には試験を行います。単科Aの講座受講生も**試験を受けてください**。これは上のクラスへの移行の際、参考にしていただくからです。

## < 修了証付与の条件 >

上級の2講座をすべて合格した場合、ロシア語科講座の課程修了となり、希望者には修了証を発行します。1学期に1講座ずつ受講する場合は、期を空けずに連続して残りのクラスを受講し、合格すると修了となります。